

第2期つちうらシティプロモーション戦略プラン策定に係る パブリック・コメントの実施結果について

1 実施結果

募集期間	令和元年12月11日(水)～令和2年1月8日(水)
意見提出者数	2人
意見数	2件
ホームページ閲覧数	315件

2 提出された意見とその意見に対する考え方

No.	意見の要旨	意見に対する考え方	戦略プランの 修正内容
1	<p>・つくば市の開発のターゲットはニューファミリー層。同じ土俵で戦ってはいけない。土浦市が本来狙うターゲットはネオシニア層。</p> <p>・人生経験が豊富でお金に余裕があり、意欲的なネオシニア層を惹きつける大衆演劇を活用したまちづくりを提案。</p> <p>・具体的には、中心市街地に劇団の宿泊施設を併設した大衆演劇の劇場を整備し、人気劇団を誘致。市民が楽しめるエリアにしたうえで、周辺にネオシニア層を対象とした服飾等のショップを誘致するなど、日本初のネオシニアが住みやすいまちを目指す。</p>	<p>本戦略プランでは、本市の現状及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の見直しの視点等を踏まえ、アウトタープロモーションにおいては「移住・定住の促進」を、インナープロモーションでは「子育て世代の転出抑制」をそれぞれ課題として整理し、本市の定住人口の維持・拡大を目指すこととしています。</p> <p>そのため、本戦略プランのメインターゲットを、インナープロモーションでは「子育て世代」、アウトタープロモーションでは「土浦市のことを知っている人」、「土浦市と関わりのある人」なかでも「進学や就職で上京した若い世代」、「JR常磐線沿線の居住者」、「アクティブシニア」と設定し、各ターゲットの関心事を読み取り、必要な情報を的確に届ける情報発信を進めてまいります。</p>	修正なし。

No.	意見の要旨	意見に対する考え方	戦略プランの 修正内容
2	<p>どの地域にも通用する総花的なプランであり、土浦市の将来像との整合性や位置づけが明確になっていない。展開方向を示すならば、もっと明確にすべき。子育て世代をメインターゲットにすることは素晴らしい着想だが、メインターゲットに対しての具体的かつ戦略的取り組みが読み取れない。土浦市の将来像を明確に意識し、そこから導き出した戦略プランであるべき。</p>	<p>本戦略プランは第2期土浦市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第8次土浦市総合計画に位置付けた各種事業や本市固有の資源を活用して創出した魅力の戦略的な発信について展開方向を示すものです。</p> <p>第8次総合計画に掲げた街の将来像「水・みどり・人がきらめく安心のまち 活力のまち つちうら」と第2期総合戦略の目的である人口減少の克服と地方創生を目指し、各計画の推進により得られた「まちの競争力」や「地域資源の魅力」を発信してまいります。</p>	<p>修正なし。</p>